はやま通信

≪学校だより　NO. 4≫
令和５年　６月２８日発行
栗東市立葉山小学校
児童数３９７名(6/28現在)

教育目標　はっきり話し、しっかり学ぶ　葉山っ子　やさしさあふれる　葉山っ子　まいにち元気な　葉山っ子
重点目標　～自ら学び、自分の成長を実感しながら、仲間とともに伸びようとする子の育成～

「１」と「０」の間で　～人とのよりよい関わりを～

校長　池田 隆

数字の「１」は、「物の数を数える最小の自然数」であり、「万物の始まり」を表すとともに、確率では最大値で「必ず起こる」「100%」つまり「完全」という意味です。

では、「０」はというと、「何もない」「無」「何も起こらない」ということを表します。

余談ですが、「０」は、紀元前500年頃のメソポタミア文明で使われ始めたそうです。そして、現在の研究では、3～4世紀頃に古代インド数学において「０」の概念が確立したとされています。「０」の発明によって数学が飛躍的に発達しました。もし、「０」がなかったら、二進法によるデジタルコンピュータも発明されず、きっと今の暮らしと大きく違ったことでしょう。

「１か０か」という場合、「あるか、ないか」「するか、しないか」という意味になります。例えば、目標を完全に達成できたことを「１」とすると、あきらめて何もしないことが「０」です。「１」をめざす中では、さまざまな努力や挫折、葛藤、悩みがあります。だからこそ、「１」に近づけようとする姿勢やよりよい答えを見つけようとすることが大切であると考えます。

また、大きな目標を達成するためには、小さな目標を作って「できた」「わかった」という小さな「１」を積み重ねていくことで、目標を達成し、よりよい自分をめざしてほしいと願っています。

また、人間関係で考えると、「１」は、「全て相手とわかり合える」ということになります。反対に、「０」は「その人と全く関わらない」ということになります。

人との関わりは、ほとんどが**「１と０の間」**ではないでしょうか。人は一人ひとり違いがあり、例え親子でも夫妻でも兄弟姉妹でも親友でも、全てをわかり合うことは難しいです。しかし、違いがあるからこそ、新たな価値観に気づき、学ぶことができます。お互いを認め合い関係を築くこと、わかり合おうと努力すること、これも「１」に近づけようとすることが社会で生きていくうえで大切であると考えます。

子どもたちは、将来、社会に出たときに、様々な人と関わり協働していかなければなりません。苦手な人や価値観の大きく違う人とも人間関係を築いていくことが必要です。関係が「０」になってしまわないように、学校は、教科学習を含めて「小さな社会」として、集団の中で学びやコミュニケーション力を高める場であると考えます。

人とどのように関われればよいか、自分の思いをどうやって伝えればよいのか、大人でも日々、考え、悩みます。お子様は、友だちと過ごす中で日々起こる様々な出来事から自分自身を見つめ、人との関わりを学んでいます。

保護者の皆様、お子様が様々なトラブルや失敗から、なぜそうなったのか、どうすればよいのかを学ぶことが「教育」であると考えていただき、自分自身でよりよい人との関わり方や解決方法を身につけられるよう、ご支援をお願いいたします。

《７月の主な行事予定》

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 委員会⑥	4 代表委員会 （昼休み）	5 分団児童会⑤ 分団下校	6 弁当日 3年校区探検 ②③④	7 学習参観② ﾁｰﾑﾜｰｸﾐﾆ運動会 ①②（体育館）	8	9
10 クラブ⑥	11	12 PTA ｵｱｼｽｻ運動	13 弁当日	14 給食終了 ALT ﾊﾘｽ先生授業（5・6年）※1	15	16
17 海の日	18 短縮４校時授業 ※2	19 短縮４校時授業 ※2	20 短縮４校時授業 ※2	21 授業終了 ３校時授業 大掃除②	22 夏季休業開始 （～8/31）	23
24 31	25	26	27	28	29	30

希望制個別懇談会（7/19～21）

※１　ＡＬＴ授業とは、ＡＬＴ（外国語を母語とする外国語指導助手）による外国語の授業です。

※２　１２時００分頃下校です。

♪校内音楽会♪

6/7（水）、数年ぶりに全校児童が集まっての校内音楽会を開催することができました。他学年の歌声や演奏を生で聴き、互いに感動する姿がみられました。前日6/6（火）の音楽参観では、多くの保護者のみなさまにご参観いただき、ありがとうございました！